

1

2015
No.122



菅谷たたら山内保存修理事業「高殿竣工記念式典」(11ページに記事掲載)

特集

4 未来へつなぐ～うんなんの輪～

- | | |
|------------------|----------------|
| 8 うんなん日和 | 12 雲南市議会構成 |
| 13 わが家のホープ | 14 雲南病院だより |
| 20 市役所からのお知らせ ほか | 32 1月イベント情報 ほか |



北京オリンピック金メダリスト上野由岐子選手によるソフトボール教室 (10ページに記事掲載)



年頭のごあいさつ 光り輝く「プラチナシティ」の実現を

雲南市長 速水 雄一

新年、明けましておめでとうございます。市民の皆様には、ご家族揃いで、新しい年をお迎えになられましたことと心からお慶び申し上げます。さて、雲南市は昨年11月1日に市制施行10周年を迎えることができました。平成26年度は、この10年を振り返るとともに新しい10年に向かってのさまざまな準備をする年でもありました。

雲南市は平成27年に高齢化率が約36%になると見込まれています。国全体の高齢化率が36%になるのが25年先の平成52年であり、国のそうした課題に今直面している雲南市はまさに「課題先進地」です。

そのような状況の中で、「地域自主組織」による小規模多機能自治の取り組みや、若手人材を掘り起こす「幸雲南塾」の開講と塾生による起業、更に雲南ゼミ・自分をつくる楽校・うんなん若者会議など志のある若者の人材育成とネットワークの拡大などを推進してきました。そうした取り組みを進めることにより若者がつながら、チャレンジし、地域課題の解決をはかりつつ「課題解決先進地」をめざしてきました。

こうしたまちづくりの取り組みが認められて、全国組織の「プラチナ構想ネットワーク」が選ぶ「第1回プラチナ大賞」(平成25年度)で、雲南市は9自治体のうちの1つに選ばれ、特別賞をいただきました。プラチナ大賞を受賞した自治体に与えられる称号は「プラチナシティ」です。

新たな年に臨み、環境問題に優しく、資源とエネルギーの心配がなく、老若男女が社会参加し、心もものも豊かで雇用のある、人々がプラチナのように輝く威厳のある社会を実現するために、市を挙げたまちづくりを進めることを誓い合いたいと存じます。

具体的には、今年からの新たな10年に向かって、人口の社会増をめざした第2次雲南市総合計画を策定したところであり、それに則ったまちづくりが進められなければなりません。

その戦略として、「子育て」においては、子どもを育てやすい環境の一層の向上、「教育」では、雲南市独自のキャリア教育を更に充実することによる教育の質の向上、「雇用」では、企業誘致に加え、起業・創業の取り組みの支援、「住宅」では、若い方たちが住みやすい定住環境づくり、そして、「若者チャレンジ」では、地域や社会の課題解決に向け、若い方たちのチャレンジを支援していくための事業などが挙げられます。

更に今年、市庁舎もいよいよ完成し、市立病院建設事業も緒に就きます。また、まもなく中国横断自動車道尾道松江線も全線開通し、交流人口の増加も期待される場所です。

新しい年、雲南市が大きく飛躍し、市民の皆様が健康・多幸であらんことを祈念して、年頭のごあいさついたします。



平成27年 年頭あいさつ

雲南市議会 議長 藤原 信宏

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、2月に冬季オリンピックの開催、4月の消費税率引き上げ、8月には広島での豪雨災害、9月に御嶽山の噴火など、様々な出来事がありました。昨年の出来事も思い出せないほど世の中の流れが加速しているように感じます。県内では引き続き出雲大社が注目を集めました。出雲神話の頃のゆったりとした時の流れに思いをはせ、ゆとりを持って日々を過ごせたらと思います。心のゆとりがなければ、心も体も健康を失いがちになります。雲南市は、昨年「健康都市宣言」を行いました。年頭にあたり、改めて健康について自身に問うことも必要ではないでしょうか。

さて、雲南市では、昨年11月に市制施行10年を迎え、また今後10年の市の施策をまとめた第2次雲南市総合計画が策定されました。本年は新たなまちづくりに向けたスタートを切る重要な年になると考えております。これからの最も大きな課題は、人口の減少問題で、都会においても積極的に人口増に向けた取り組みが進められるなど、日本全体の大きな課題であります。特に雲南市のよ

うな中山間地では、人口の減少と高齢化により、地域のコミュニティの維持や地域活動そのものが困難になるものと懸念され、無医地区や無店舗地区など生活の基礎となる施設が不足し、今後多くの課題が発生することが予想されています。そうした中で地域自主組織を中心にした先進的な活動が芽生えてきており、今後地域に根差した活動が活発化することを大いに期待しております。

また、定住人口を増やすためには、市外からの人口の流入はもとより、今市内で生活している皆さんが安心して住みやすいと感じるまちづくりが重要と考えます。

本年は新庁舎が完成、雲南市立病院改築の着工など大規模事業もあり、3月には高速道尾道松江線も全線開通します。新たなまちづくりの基盤となるよう大いに期待するところであります。

昨年の12月定例会におきまして、議長、副議長及び常任委員会等の構成替えを行いました。合併後10年の新たなスタートに併せ、議会も新たな気持ちで取り組んでまいりますので市民の皆さまの一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のごあいさついたします。

未来へつなぐ うんなんの輪

9月号でお知らせした「若者がチャレンジするまち」に続き、今年度から、新たに高校生や社会人のみなさんとの連携により、さらに人とのつながりが強くなった「雲南市のキャリア教育」という「うんなん若者会議」を紹介します。



幸雲南塾 inさんべ

「ナナメの関係」

「教育と社会人の連携」

雲南市では、夢や希望を持ったくましく生き抜く子どもの育成をめざす「キャリア教育」を行っています。学習意欲を向上させ、将来への夢や希望を持つ子どもを育成するためには、自己肯定感、自尊感情を高めることが重要です。そのためには、先生や親といった「タテ」の関係ではなく、同じ考え方になりやすい友達との「ヨコ」の関係でもない、人生を少し先行く先輩との「ナナメ」の関係が有効であることに着目し、今年度から「ナナメの関係」を取り入れたキャリア教育を展開しています。

この取組の特徴は、生徒たちが年齢の近い先輩たちとの交流の中で、安心して活動し、かつ本音が語れる関係を築くとともに、話を聞いたり自

らの体験談を語ったりすることにより、「自分の話を聞いてもらえた」という体験や「こんな大人になりたい」という憧れが、将来へ踏み出す意欲を喚起する効果があることです。

【認定NPO法人カタリバ】

2001年任意団体カタリバを設立し、高校生のためのキャリア学習プログラム「カタリ場」を開始。2006年には法人格を取得し、全国約800の高校、約170,000人の高校生に「カタリ場」を提供しています。

アラレ ALARE

「自分をつくり、時代をつくる」を合言葉に、20~30歳代の若手社会人の有志により2012年任意団体ALAREを設立。メンバーは、東京、名古屋、徳島、愛媛、岐阜、島根など全国各地から集まり、社会の第一線で働きながら、全国の高等学校や学習塾での出張授業などを行っています。

中学生 X カタリバ

幸雲南塾 inさんべ

平成21年度から実施している「幸雲南塾 inさんべ」は、「夢」発見プログラムの取組の一環として、中学生の勤労観、職業観、仲間意識、コミュニケーション能力やふるさと雲南への自信と誇りを高めることを目的に行っています。

今年度は、市内の中学3年生100人と大学を含む認定NPO法人カタリバ（代表理事 今村久美さん）のメンバー28人が参加し、9月20日（1泊2日）に、国立三瓶青少年交流の家で行いました。

メインプログラムの「白熱教室」では、大学生を中心とした座談会を行い、先輩たちの多様な価値観や、自分は他人と違う、他人は自分と違うことを学びました。

市内外から15職種22人の講師を招き、仕事や人生について語る「キャリアアップワークショップ」では、勤労観や職業観について学びました。

最後に、生徒たちは2日間学んだことをもとに、今、自分にできることを自分の言葉で、「一緒に過ごした仲間」に伝えることができました。

生徒たちは、「違う意見でも受け入れられるという、自分にとって大切なものが見つかりました」「自分のやりたいことや自分にとって大切なことが何かわかりました」などと感想を述べていました。

中・高校生 X ALARE

自分をつくる楽校

今年度から、土曜学習として市内の中学3年生と高校生の希望者を対象にした「自分をつくる楽校」（全6回）を行いました。

この楽校は、「社会には様々な価値観や選択肢があることを知り、自分を生かした将来像を描くこと」を目的に行い、ALARE代表 渡部雄大さん（わたなべゆうだい）のみなさんが座談会の進行役となり、生徒たちと一緒に今の自分やこれからの自分について語り合うプログラムです。

最初は緊張していた生徒たちも、社会人や仲間との交流を通して、だんだんと自分の思いを語るこ



ALARE 渡部代表

ができるようになり、最終回では、自分の将来の夢や生き方について、たくさん聴衆の前で発表しました。土曜日の活用により、多くの社会人や他校の生徒と交流ができ、「これからの自分を楽しくつくる」学習になりました。

参加した生徒は、「自分をつくる楽校」で自分を変えることができた」「人前で発表することは苦手だったが、『自分をつくる楽校』に参加して自信を持って発表できるようになった」と語っていました。

ALAREのみなさん





高校生×大学生

うなん若者会議

神在月に全国の神々が集まるという神話になぞらえ、多分野のゲストと市内外の若者が出会い、未来に向けて話し合う「うなん若者会議」。

高校生・大学生・社会人が世代を超えて縁を結び、フラットに話し合い、刺激し合い、成長し合う場づくりを通じて、若者による地域づくり活動の活性化を目的に開催しています。

また、高校生が地域（社会）とつながるきっかけをつくるとともに、各ジャンルの第一線で活躍するゲストや、地域で活躍する大学生、社会人との出会いを通じて、自身の将来や進路を



グループの意見を発表する高校生

考える機会ともなっています。

今回は、市内外の大学生・社会人と市内の高校生合計約80人が参加して12月7日、加茂文化ホール「ラメール」で開催しました。

参加者が「食場づくり」「教育」「医療」「アート・演劇」の各テーマに分かれて、今、自分がやりたいことを話し合い、発表や意見交換を行いました。

【ゲストコディネーター（講師）からのコメント】

テーマ 教育

NPO法人カタリバ代表理事

今村久美さん



私は出張や遠くに出かけた時などは、旅行情報誌などに載っていないようなお店に行きます。

その土地の人は、自分たちが行く「穴場」と思うお店は大切に隠しておくような気がしています。雲南市はそんな「かくしておきたい、とっておきの穴場」の様な街になれるんじゃないかと思いました。

そのためにも、高校生や大学生など若者がどんなふうになるのかに関われるのかにかかっていると思います。「犬も歩けば棒に当たる」といいますが、ボーっと過ごさずにはチャンスは掴めない。今日のこの場にきたという事は巡り合いのチャンスを掴んだという事。楽しみながらこのチャンスを生かして欲しいです。

テーマ アート・演劇

アーティスト

ミヤザケンスケさん



雲南のように若者からパワーを感じられる事はすごい事。自分の思いをどんどん言葉にして、「個性丸出し」でどんどんチャレンジして欲しいです。

将来の雲南市のために具体的な話も大切ですが、夢の様な事を語り合う事も大切。若者同士でもっともつと語り合って欲しいと思います。

テーマ 食・場づくり

NPO法人農家のこせがれネットワーク代表理事

宮治勇輔さん



美味しいもの、美しい景色、良い温泉...というのはこの地域に行っても、たいいあるものです。一度訪れたあと、もう一回行きたいと思う地域は、

中・高校生×若者×先生

教育フェスタ

雲南市のキャリア教育は、社会を生き抜く力の育成であり、子どもたちが将来、職業的にも、社会的にも自立し、他者との協働を大切にしながら地域貢献を育む教育です。

11月8日、9日、三刀屋中学校をメイン会場に「教育フェスタ」を開催し、「つなぐキャリア教育の推進と土曜日の充実」をテーマに、学校教育と社会教育の協働による教育の推進についての講演や熟議を行いました。

9日に行った「ナナメの関係を活かしたキャリア教育の推進」では、「自分をつくる楽校」に参加した中学生が「価値観」や「大切にしているモノやコト」について発表し、高校生は「自分とは」「将来の夢」や「どんな大人になりたいか」「価値観」などについて自分の考えを述べました。

この「ナナメの関係」を活用した取組は、社会人や地域の方との協力により、来年度も継続



教育フェスタで発表する高校生とALAREのみなさん

うなんの未来へつなぐ

こうした取組が、高校生、大学生、若者、地域とのつながりがうまれ、学び、体験し、育っていくことが、持続可能な雲南市の地域づくり、雲南市の未来づくりへとつながっていくことと期待しています。

テーマ 医療

NPO法人おつちラボ代表理事

天田明子さん



「もう一回会いたい人がいる地域」だと思っています。雲南にはそんな地域になってもらいたいと思います。

全国で活躍する人たちと地元若者の高校生が一つのフロアで「地域づくり」をテーマに話し合えるような場があるのは県内唯一ではないでしょうか。今日の出会いを宝物として欲しいと思います。このきっかけを生かして自分のやりたい事に向かって一歩踏み出して欲しいです。

（若者からの提案・感想）

グループで話し合った後、「乳がん・子宮頸がん検診啓発Tシャツを作成する」「地元の方や同級生と自分の夢や悩みについて語り合う場をつくる」「ネットを活用し雲南の食の幸を情報発信する」「桜まつりで空き家を活用した演劇をする」など、若者らしいアイデアを高校生が中心となって発表しました。

参加者からは「普段は話し合ったりするのは苦手だったが、他校の生徒や社会人と話し合うのは楽しかった」（高校生）、「自分よりも熱い思いを持った大学生、そして高校生がいることにとても驚き、自分も負けたまるかと思った。」（社会人）といった感想が聞かれました。

地域のみなさんの見守り

近年子どもたちを狙ったいたましい事件があつたを絶たず、大きな社会問題にもなっています。

市内の各地域で、「子ども見守り隊」が結成され、安心して学校へ通えるよう、登下校する子どもたちを見守っていただいています。

この度、「下熊谷の子どもを事件から守る会（通称：くまっ子見守り隊）」（代表世話人 山本清治さん）が、見守り活動や、子どもとの交流活動など、社会教育としての自主的な取組が高く評価され、文部科学大臣表彰を受賞されました。

今後も、雲南市の子どもたちの安全のために、地域のみなさんのご理解とご協力をよろしくお願ひします。



下熊谷での見守りの様子



伝達式の様子（速水市長と山本代表）

11/16 さくらおろち湖周辺で、マラソン大会開催

第2回さくらおろち湖マラソン大会が、さくらおろち湖（尾原ダム）周辺で行われ、県内外から282人が参加し、2km、10km、ハーフマラソンの3部門に分かれ出場しました。

当日は、晴天に恵まれ、尾原ダム堤体をスタートしたランナーは、さくらおろち湖畔や周辺の山々の紅葉を眺めながら健脚を競いました。



真鍋さん（写真中央）と記念写真をとる選手たち



ハーフマラソンの部でスタートした選手たち

ハーフマラソンは、高低差約150mの起伏に富んだ難コースでしたが、3カ所のエイドステーションで雲南市と奥出雲町のスイーツが楽しめ、ランナーから好評を得ていました。

また、全国各地のランニングイベントなどで活躍中のゲストランナー真鍋未央さんが、10kmの部門に参加し、ランナーと一緒に汗をかき、マラソンのアドバイスやランナーとの記念撮影を行い交流を深めました。



あいさつをする藤井副市長

雲南地区交通安全大会開催!!

木次経済文化会館チェリヴァホールで、『事故ゼロの おくに自慢はしまねから』をスローガンに、第9回雲南地区交通安全大会が行われました。

当日は、雲南市、奥出雲町及び飯南町の交通安全協会から約400人が参加し、交通事故のない明るく住みよい雲南地域をつくるため、子どもと高齢者の交通事故防止、飲酒運転の追放、スピードダウンの徹底など、地域総ぐるみで取り組むことを誓いました。

また、式典では、多年にわたり交通安全意識の高揚と事故防止に尽力された49人の個人と4団体へ、感謝状や表彰状が贈られました。

11/21 雲南市「プラチナシティ」認定

「プラチナ社会」を推進する全国組織である「プラチナ構想ネットワーク*」から、雲南市を含む全国15自治体へプラチナシティの認定があり、プラチナ構想ネットワークの大竹健介副事務局長より認定証を受け取りました。

「プラチナ社会」とは、「エコロジカルで、資源やエネルギーの心配がなく、老若男女の参加と雇用があり、人々がプラチナのように光り輝く威厳のある社会」とされています。

この認定は、これまでの雲南市のまちづくりが高く評価されたものであり、今後も市民一人ひとりが輝き続けられるプラチナ社会をめざしていきます。

*エコで、高齢者も参加でき、地域で人が育ち、雇用のある、快適な社会を目指したワンランク上のまちづくりを進める全国規模の連携組織（会長 小宮山 宏さん 元東京大学総長）。



速水市長と大竹副事務局長



掛合町波多交流センターでの地元学の聴講

11/13～15 農都交流プログラム・モニターツアーを実施しました!

都市型企業と農村部を繋ぎ、農都双方の資源を活用し互いが抱える課題の解決をめざし、企業研修のフィールドとしての雲南市の可能性等を検討するため、JÓÍÑ（移住交流推進機構）とJTBコーポレートセールスの協力を得て、市主催の「農都交流プログラム・モニターツアー」を実施しました。

企業の人材育成担当者など1都4県から12人が参加したこのツアーは、豊かな自然・歴史・文化・食等の地域資源に恵まれている雲南市で、地元学の聴講や地域の方との交流会、農林業体験等を行いました。参加した皆さんは、「地元への想いや誇り、ふるさとを大切に思う気持ちに感動した」「人間らしい心を見つめ直すプログラムになると思う」「企業研修のフィールドとしての可能性は十分にある」などと感想を語っていました。



農林業体験

11/14 島根中央子牛共進会で優秀賞首席を獲得!!

松江市宍道町の島根中央家畜市場で、「島根中央子牛共進会」が開催され、県東部から39頭の子牛が出品されました。

市内11人の皆さんから愛牛を出品していただき、2つの区で審査が行われました。

審査の結果、第1区で 宮食愛伯さん（三刀屋町）所有の「ひとみ14の4」号が、優秀賞首席を獲得しました。



優秀賞首席を受賞した宮食愛伯さんと「ひとみ14の4」号

- | | | |
|------|------------------------------|-------------------------------|
| ○第1区 | 優秀賞首席 宮食 愛伯さん（三刀屋町） ひとみ14の4号 | 優秀賞8席 渡部 学さん（大東町） まりりん号 |
| | 優秀賞次席 安井 辰雄さん（掛合町） しげはな号 | 優秀賞9席 佐藤 定夫さん（三刀屋町） ひらいと8号 |
| | 優秀賞9席 渡部 彰夫さん（加茂町） よしひさ2号 | 優良賞首席 長妻 良さん（大東町） てるこ号 |
| | 優良賞 長谷川邦男さん（三刀屋町） てるいと号 | 優良賞 中西 康一さん（大東町） こうてる号 |
| | 優良賞 小山 秀磨さん（木次町） にしくに号 | 優良賞 山根 茂さん（木次町） ふく号 |
| ○第2区 | 優秀賞7席 北尾 正成さん（掛合町） しげはな号 | ○部位賞後駆 宮食 愛伯さん（三刀屋町） ひとみ14の4号 |



道の駅「さくらの里きすき」

「チャリガール集合! ご縁結びしめ縄ライド試走会」開催!!

中国横断道尾道松江線の開通で交通量が減った国道54号沿線の地域活性化に向け、ご縁結びしめ縄ライド実行委員会が主催した、ダウンヒルサイクリング試走会が行われました。

この試走会は、道の駅「赤来高原」から国道54号を通過、「サイクリスト専用ミニしめ縄づくり」の体験や、里山の自然景観を楽しみながら出雲大社を目的地とする女性向けサイクリング大会です。

当日は、寒さが身に染みる秋空の下、21人のサイクリング愛好者たちが、道の駅「赤来高原」を出発し、途中、道の駅「掛合の里」や「さくらの里きすき」に立ち寄り、地場産品を味わいながら、ゴールの出雲大社をめざしました。

実行委員会では、この試走の結果を踏まえて、来年以降の本格開催を検討する予定です。



式典でのテープカット

菅谷たたら山内高殿竣工記念式典 & 新作スイーツ発表!!



国指定重要有形民俗文化財「菅谷たたら山内」(吉田町吉田)に所在する建造物は、経年劣化や積雪の影響によって、木部の腐朽が進行し、平成24年度より5カ年計画で保存修理工事が行われています。

この度、中心施設である高殿の工事が完了し、竣工記念式典と見学会を行った後、菅谷たたら火焰太鼓を上演し完成を祝いました。

現在、元小屋の解体工事が行われており、今後、山内祠、米蔵、長

屋の修理が行われる予定です。

この式典にあわせ、雲南市農商工連携協議会主催により、スイーツの杜プロジェクトの新作スイーツ「たたらカステラ」の発表も行われ、試食会も行いました。

❖ たたらカステラ ❖

たたらの神木「桂」の葉の甘い香りにちなんで、市内産の卵と蜂蜜をたっぷりつけたカステラ。

※スイーツの杜プロジェクト店(吉原亀栄堂、橘屋、鏡上堂、たてたに)で12月17日(水)から販売開始

❖ スイーツの杜プロジェクト ❖

市内の老舗菓子店4店と福祉事業所1か所によるプロジェクトで、平成21年から「プリン」や「ズコット」など、地元の食材にこだわったスイーツづくりに取り組んでいます。



菅谷たたら火焰太鼓による演奏



修理完成後の高殿内部の様子



新作スイーツ「たたらカステラ」の発表



記念撮影するアスリートたち

第1回スペシャルオリンピックス 日本・島根陸上競技会開催!!



スペシャルオリンピックスは、知的障がいのある6歳以上の人たちに日常的なスポーツトレーニングと、その成果の発表の場を年間を通じて提供している国際的なスポーツ組織です。

このスポーツプログラムに参加しているアスリート(参加する知的障がいのある人)たちが、日頃のトレーニング成果を競い合い、喜びをともにする目的で開催された第1回陸上競技会が、大東ふれ

あい運動場陸上競技場で行われ、アスリート7人とボランティア90人が参加しました。

大会当日は、秋晴れに恵まれ、ボランティアのみなさんからの声援や拍手に包まれながら、アスリートたちは全力で競技を行っていました。

また、表彰式では、アスリート一人ひとりにメダルをかけてもらい、みんなで万歳をして喜びを分かち合っていました。

スペシャルオリンピックス日本・島根によるバスケットボールや水泳競技、陸上競技のトレーニングプログラムは、来年度も雲南地区で行われる予定です。



上野由岐子選手、山本優選手による ソフトボール教室開催!

NPO法人Yu-Gaku加茂スポーツクラブ(理事長 深田徳夫さん)のNPO設立と雲南市市制施行10周年を記念して、北京オリ



指導する上野選手

ピック金メダリストであり、現在も日本代表チームのエース投手として活躍する上野由岐子選手と、同じく日本代表中心選手としてチームを牽引する山本優選手を招いて、加茂中央公園野球場でソフトボール教室が行われました。

県内外から、約300人のソフトボール愛好家たちが参加し、世界で活躍するトップアスリートの投球や打撃のデモンストレーションを見た後、守備や打撃の指導を受けました。

市長コラム

地域の平和と安泰を祈って

明けましておめでとうございます。今年、雲南市の新たな10年に向かってのスタートの年です。今年の干支は未、羊は家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らす象徴とされています。新たな年が、どうか平和な年であることを願ってやみません。

衆議院選挙も終わり、地方創生の具体策が急がれますが、地方の自治体は、これまでもそれぞれが生き残りを賭けた地域創りに必死に取り組んできました。そうした過程を辿ってきた自治体にとって、国を挙げての創生事業は時宜を得た政策です。

特に地方は、少子高齢化、人口減少の進展により、空き家の増加、自治会力の低下、地域力の低下が進みつつあります。

雲南市ではそうした傾向に歯止めをかけるための対策として、人口の社会増対策に取り組もうとしています。その推進力として地域自主組織の法人化をめざそうとしています。

こうした取り組みが地方創生につながり、未来にちなんだ地域の平和、安泰に繋がると確信します。



兵庫朝来市で行われた「第4回地域に飛び出す公務員を応援する首長連合サミット」で、雲南市の地域自主組織の取り組みについて語る速水市長



「雲南市の歌」を合唱する雲南市民で童謡を歌おう会のみなさん

雲南市民歳末余芸大会が行われました



三刀屋文化体育館アスパルで第8回社会福祉チャリティー雲南市民歳末余芸大会が行われました。市内の文化サークルなど団体や個人19組が出演し、歌や踊りなどを披露したほか、お楽しみ抽選会もあり、1,400人の観客を楽しませていました。

なお、収益金は、今後雲南市内の社会福祉事業に活用されます。



井上将大さん・千尋さんのお子さん



おうすけ
皇助ちゃん (大東町大東下分)
平成26年1月7日生まれ
1歳のお誕生日おめでとう♪
ニコニコ笑顔が可愛いおーちゃん♡
すくすく元気に大きくなあれ☆

藤原史郎さん・綾さんのお子さん



ゆい
結衣ちゃん (大東町新庄)
平成26年1月3日生まれ
結衣ちゃん1歳おめでとう♪
いっぱい遊んでいっぱい食べて、
元気に大きくなってね♡

谷戸俊一さん・京子さんのお子さん



ほのは
歩羽ちゃん (三刀屋町乙加宮)
平成26年1月1日生まれ
1歳おめでとう♪
お兄ちゃん達と仲良く元気に育って
ね☆

福間純治さん・和さんのお子さん



ひなの
柊那乃ちゃん (三刀屋町六重)
平成26年1月19日生まれ
ひなちゃんお誕生日おめでとう♪
すくすく元気に育ってください。

石飛信宏さん・望さんのお子さん



なほ
南帆ちゃん (木次町下熊谷)
平成26年1月16日生まれ
末っ子なほちゃん♡
一にとねーねに負けなくらい
おてんばちゃんになーれ(^^)!

筒井基博さん・恵美さんのお子さん



ゆう
悠ちゃん (大東町田中)
平成26年1月12日生まれ
ゆうくん1歳おめでとう♪
元気でのびのび育ってね。

田中仁志さん・依世さんのお子さん



こはる
心春ちゃん (大東町飯田)
平成26年1月22日生まれ
こはちゃん、1歳おめでとう♪
これからも気が向くまま、我が道を
突き進んでね♡

藤原 誠さん・いずみさんのお子さん



あつむ
惇睦ちゃん (掛合町掛合)
平成26年1月20日生まれ
いつも笑顔で好奇心旺盛なあつむ♪
1歳おめでとう♪ いっぱい遊んで
いっぱい学んで大きくなあれ☆

大坂貴志さん・彩花さんのお子さん



ゆな
優菜ちゃん (三刀屋町三刀屋)
平成26年1月20日生まれ
優菜ちゃん1歳おめでとう♪
これからも元気に育ってたくさんの
笑顔を見せてね♡

2月で満1歳(平成26年
2月生まれ)のお子さんを募集!

詳しくは、お知らせP28に
記載しています



持田純也さん・久美さんのお子さん



まこ
真心ちゃん (加茂町大西)
平成26年1月23日生まれ
まこちゃん、毎日みんなにステキな
笑顔ありがとう。
いっぱい笑って大きくなあれ♪

田部 宏さん・麻梨花さんのお子さん



なの
那乃ちゃん (大東町中湯石)
平成26年1月22日生まれ
お誕生日おめでとう☆
姉妹仲良くいっぱい遊んで元気に
成長してね♡

雲南市議会 議会構成

12月4日に開催された雲南市議会12月定例会で次のとおり決まりました。

(敬称略)

種別	氏名 (◎印 委員長 ○印 副委員長)
議長・副議長	  議長 藤原 信宏 副議長 周藤 強
議会運営委員会	◎堀江 安井 眞 誉 ○深田 山崎 ふかだ 眞二 のりお 徳夫 正幸 さとう 佐藤 隆司 眞二 たかし 周藤 正志
議会選出監査委員	堀江 治之
常任委員会	◎佐藤 隆司 眞二 ○松林 孝之 眞二 はら 原 祐二 つちえ 土江 良治
	◎山崎 正幸 眞二 ○中村 辰眞 眞二 たが 多賀 三雄 にしむらゆういちろう 西村雄一郎
	◎周藤 正志 眞二 ○矢壁 正弘 眞二 しらつき 白築 俊幸 眞二 ほそぎ 照子
特別委員会	◎西村雄一郎 祐二 ○白築 俊幸 眞二 まつばやし 松林 孝之 眞二 なかむら 中村 辰眞 眞二
	◎安井 眞二 ○原 祐二 (議長を除く全議員)
	◎小林 眞二 眞二 ○土江 良治 眞二 やかべ 矢壁 正弘 眞二 たが 多賀 三雄
事務組合等	◎周藤 正志 眞二 ○多賀 三雄 眞二 まつばやし 松林 孝之 眞二 にしむらゆういちろう 西村雄一郎
	◎周藤 正志 眞二 ○多賀 三雄 眞二 まつばやし 松林 孝之 眞二 にしむらゆういちろう 西村雄一郎

雲南病院だより



新年のあいさつ



病院事業管理者

松井 譲

新年あけましておめでとう
ございます。
皆様方には、ご家族お揃いで
新年をお迎えになられた事
と、お慶び申し上げます。
さて、本年はいよいよ念願
であります新棟建設の着工を
迎える年となりました。ここ
までこれましたのも、住民の
皆様、議会、行政のお力添え
があつたことと、深く感謝
申し上げます。老朽化した上
に6人室のある病棟となつて
おり、時代に適応した療養環
境を患者様に提供したい立場
にあるものとして、一日でも
早い完成をめざしてまいりま
すので、一層のご支援とご理
解を賜りますようお願い申し
上げます。
次に「健全な経営」という
命題においては、25年度決算
において2年連続の黒字決算

が図れ、内部留保資金も着実
に上積みを図ることができま
した。これも関係者の皆様の
ご支援と、支えてくれている
職員のおかげと感謝していま
す。今後も健全な経営が図れ
るよう努めて参ります。
地域医療は依然として厳し
い状況であり、26年度におき
まして、内科については常勤
医の2名増員が図れたもの
の、常勤医師数は退職医師の
補充をするのがやつの状況
であります。まだまだ医師の
充足を図れる状況ではありま
せんが、市民の皆様の健康を
守るため、職員一同更なる努
力をして参りますので、一層
のご支援をお願い申し上げま
して、新年のごあいさつとい
たします。

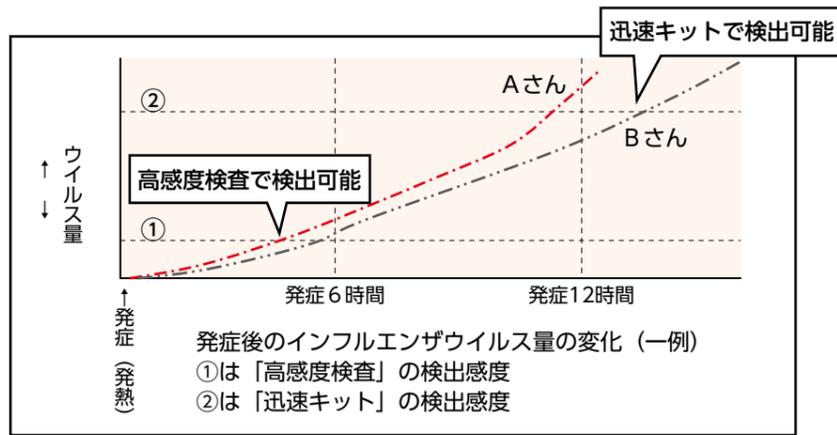


院長 大谷 順

新年明けましておめでとう
ございます。市民の皆様方に
おかれましては、平成27年の
新春を晴々しい気持ちでお迎
えのこととお慶び申し上げます。
また旧年中は、病院事業
に対するご理解とご協力を賜
りましたことに厚く御礼を申
上げます。
さて、本年は大きな節目の
年と言われています。今年、
65歳以上の高齢者は約3、4
00万人、4人に1人が高齢
者という時代になります。第
一次ベビーブームで誕生さ
れ、日本の高度成長経済を支
え引ッ張ってこられた人た
ち、「団塊の世代」がすべて
退職されて、前期高齢者（65
歳〜74歳）の仲間入りをされ
ることが大きな要因です。
今年を端緒にして、今後10
年先に向かいわが国はかつて
経験したことのない超高齢化
社会に突入していきますが、
その対策として昨年、国は大
きな方針を打ち出しました。
「地域包括ケアシステム」と
言って、地域で暮らし高齢者
が安心して医療、福祉や介護
を受けながら、できるだけ住
み慣れた場所で生活できるよ
うに社会全体で支えていく仕
組みの事です。
病院としても、国が推進す
る仕組みに役立てるよう、機
能を変化させております。と

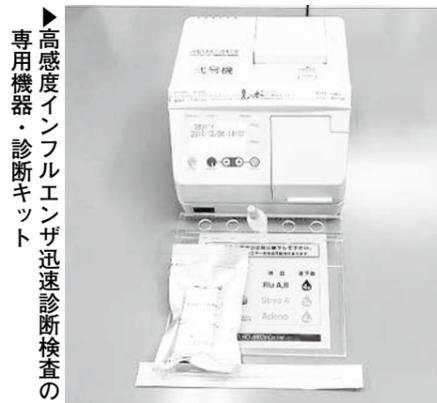
くに入院に関係するところで
は、昨年「地域包括ケア病棟」
の新設を行いました。これ
は、従来の亜急性期病棟の機
能に、在宅復帰に向けての機
能をより強化した病棟で、加
齢にともない体の機能が低下
して、病氣や怪我などからの
回復が思わしくなく、なか
か住み慣れた場所に帰ること
のできない高齢患者様にとつ
て有用な病棟です。
地域包括ケア病棟の運用に
伴い、回復過程に応じて病室
を変えていただく事が時に
生じますが、本病棟の特質を
ご理解のうえ、ご協力をよろ
しくお願いいたします。
4月からはいよいよ2年後
に竣工予定の新病棟建設も始
まります。工事に伴い病院ご
利用の皆様方にはしばらくご
不便とご迷惑をお掛けいたし
ますが、地域により良い医療
サービスを提供するための準
備期間ということで、ご理解
を賜りますようお願い申し上
げます。
最後に、本年が皆様にとり
まして良い年となりますこと
を心よりお祈り申し上げます
とともに、本年も職員一同、地
域医療の維持・発展に努めて
参る所存でございますので、
どうぞよろしくお願ひ申し上
げます。

検査科から
現在、医療機関で行われているインフルエンザウイルスの検査は、通常「迅速診断キット」(以下迅速キットという。)という簡易検査で行われています。



高感度インフルエンザ迅速診断検査について

しかし、この「迅速キット」はインフルエンザウイルスの検出感度が十分でないことから、感染初期でウイルスの量が少ない場合「陰性」の結果が出る場合があります。当院では昨シーズンから「高感度インフルエンザ迅速診断検査・高感度の試薬・専用の最新機器」(以下高感度検査という。)でインフルエンザの検査を行っていますので、精度よく正確な判定ができます。通常の「迅速キット」では、発症から約12時間以上経過してから検査で陽性になると言われています。個人差はありますが「高感度検査」では発症後6時間以降であれば判定が可能とされています。



高感度インフルエンザ迅速診断検査の専用機器・診断キット

検査科から
血圧脈波検査は、動脈硬化の程度を見る検査です。両手両足の血圧を測るのですが、同時に心電図と心臓の音も記録します。これらの情報から「動脈の詰まりの程度」や「血管の硬さ(血管年齢)」がわかります。

血圧脈波検査について

《動脈硬化とは?》
動脈硬化とは動脈の壁が厚くなったり、硬くなったりして血管本来の構造が壊れて働きが悪くなる病変の総称で病名ではありません。壁の厚くなったところが、おかゆやヨーグルトのような状態になっていると粥腫(じゆしゆ)といって、これがはがれて血液中をただよい、細い血管を詰まらせることもあります。動脈硬化が原因となつて心筋梗塞・狭心症・脳梗塞・閉塞性動脈硬化症・大動脈瘤、腎梗塞、手足の壊死などが起こります。動脈硬化は生まれてから一生付き合わなければならない血管の変化で、年齢と共に進行していきます。中高年になってから起こるものと思われがちですが、動脈硬化を進めてしまつ「危険因子」に気を付けて進行を食い止めることも大切です。危険因子には「肥満」「糖尿病」「高

血圧」「高脂血症」「喫煙」「睡眠時無呼吸症候群」などがあります。30才頃になれば加齢による動脈硬化性の変化も完成されてきますので、しなやかで柔らかい若々しい血管を保つためにも、食事と運動などに気を付けて、これら血管を傷つける原因となる「危険因子」を増やさないようにしたいものです。

《血圧脈波の検査の様子》

ベッド上で安静にして、両手両足の血圧を測ります。



動脈硬化は自覚症状なく進行していきます。肥満・糖尿病・高血圧・高脂血症などで治療中の方、検査結果は気になるがまだ自分は大丈夫だと思つている方や何も心配してないという方も血圧脈波検査で動脈硬化の程度を見てください。

第10回 雲南の地域医療を考えるシンポジウム開催!

11月16日に木次経済文化会館チェリヴァホールで第10回雲南の地域医療を考えるシンポジウムが開催されました。



▲シンポジウムの様子

今回は第10回記念として、テレビなどで活躍中のジャーナリスト・池上彰さんの「学び続けること」と題した記念講演が行われました。日々学び続けることの大切さと、人に分かりやすく伝えることを情報収集していくことが大事であることを話され、会場をうめた満員の皆さんは真剣に聞き入っていました。

その後、島根県健康福祉部・原部長、島根大学・小林学長、雲南市・速水市長と当院・松井病院事業管理者による「少子・高齢化社会における医療と教育のあり方」についての記念対談が行われました。少子高齢

化、医師不足の中で地域医療と教育をどのように形作るべきか、白熱した議論が交わされました。今後は島根県、島根大学、雲南市、各医療機関がそれぞれの立場から意見を出し合いながら、協調して、「地域医療を継続して守っていく仕組み」を作っていく必要があります。

「第10回雲南の地域医療を考えるシンポジウム開催報告集」については、雲南市立病院ホームページ (<http://unnan-hp.jp/>) をご覧ください。



▲記念対談の様子



▲講演する池上彰さん

展示コーナーのご紹介

木次日本画教室



石田 珪子さん



系原 吉蔵さん



土江 良二さん



講武 好悦さん



周藤 マサコさん



小田川 幸子さん



高尾 道江さん

稲わら工芸



武田 吉範さん



薬剤師から

「認知症」について

「認知症」と聞いて思い付くことは何でしょうか。やはり「アルツハイマー病」でしょうか。確かに「認知症」におけるアルツハイマー型認知症の割合は約半分と言われていますが、他にも様々なタイプの認知症があります。そこで今回は「認知症」について解説します。

認知症の種類

◆脳血管性認知症

脳梗塞や脳出血などの脳血管障害を起こした後、その後遺症として発症する認知症です。小さな発作を頻繁に繰り返す、本人には自覚も無く家族も気が付かないうちに徐々に進行していく場合があります。

(症状)

片麻痺、感情失禁(感情をコントロールできない)、意欲や自発性の低下、嚥下障害(物を飲み込めない)など
◆前頭側頭葉変性性症
頭の前頭葉や側頭葉の萎縮が見られる認知症です。脳の萎縮が見られる点はアルツハイマー型認知症と同じですが萎縮する部位が違います。
(症状)
身だしなみに無頓着になり不潔でも平気、同じ言葉や行動を繰り返す、暴力を振るう、万引きなどの反社会的行為を行うなど

◆レビー小体病(小脳病)

アルツハイマー型認知症に次いで多い認知症です。脳内の神経細胞内に「レビー小体」という特殊な蛋白質が多く出現するののでレビー小体病と呼ばれます。

(症状)

幻視(見えるはずのないものが見える)・幻聴(聞こえるはずのないものが聞こえる)、人や事柄に無反応、睡眠障害、自律神経障害など
◆アルツハイマー型認知症
脳にアミロイドベータという特殊なたんぱく質が蓄積し脳が萎縮することによって起こる認知症で比較的進行は穏やかです。紙に図形が書けない、時計の図に針を記入できないなどで診断できます。
(症状)
頑固になる、怒りっぽくなる、年月日が分からない、家族のことが分からなくなる、買い物の支払いができない

認知症の薬

◆薬の種類

認知症の薬の種類は大別して二種類と多くありません。ただ使われている薬の剤型は認知症の患者さんが服用しやすいように少量の水でさつと溶けるような薬やゼリー、ドライシロップや貼付剤などがあります。また意欲低下などの症状にはうつ病の薬が、睡眠障害には睡眠導入剤が対処療法的に用いられているのが現状です。

◆薬の効果

認知症の薬は認知症を治す薬ではありません。その効果は「認知症症状の進行抑制」であることを知っておきましょう。

高齢者の薬の管理

認知症の患者さんは薬の管理ができないため、周囲の助けが必要です。しかし認知症と診断される以前は自分で管理しておられた方がほとんどだと思います。本人に任せっきりにせず、時々周囲の方々が薬の服用を確認してください。



院内サロンふれ愛

1月・2月の開催日：
1月16日(金)・30日(金)
2月13日(金)・27日(金)
時間：午後1時30分から3時30分
場所：雲南市立病院 南棟2階 ドック検診室
お気軽に越してください。

病気についての不安を抱える患者さま・ご家族の交流の場であり情報交換・学習の場です。参加費等は必要ありません。どなたでも自由に参加できるサロンです。

問い合わせは…雲南市立病院 保健推進課 電話 0854-43-3602

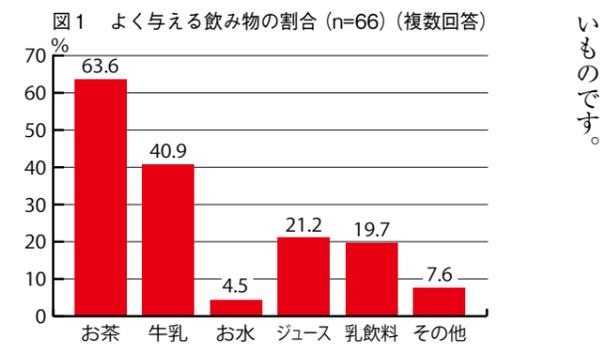


家族ぐるみ・地域ぐるみで
子どもの歯を守っていきま
しょう！

むし歯は「糖分」「むし菌菌」
「歯の質」等多くのことに関
わる生活習慣病です。乳幼児
期は基本的な生活習慣を身に
つける時期として重要で、生
涯を通じた歯の健康づくりに
もつながると言われています。

昨年10月から11月の2ヵ月
間、雲南市乳幼児健診受診者
の保護者66人に、「おやつ
の与え方について」の聞き取り
調査を行いました。その結果、
約4割の家庭にたくさんのお
菓子が入っている菓子鉢があ
り、菓子鉢の中には「おかし
と甘味のお菓子が一緒にあり
ました。飲み物については、

最も多く与えているのは、お
茶であり、次いで牛乳でした。
ジュースや乳飲料を与えてい
る保護者は、あわせて4割で
した(図1)。聞き取り調査
の結果、むし歯になりにくい
「おかし」とむし菌になりに
くい甘いお菓子やジュース等
を組み合わせて食べている食
習慣が推察されました。
「おかし」はむし菌になりに
くいおやつですが、甘いお
菓子や甘いジュースなどの飲
み物と組み合わせると、むし
菌になりやすいので、お
やつとの組合せに気を付けた



上手に取り入れましょう！こどものおやつ！！

★こどもの「おやつ」は「第4の食事」。
甘いお菓子ではありません

1. 子どものからだは成長途中で、胃の大きさも小さく、消化する力が未発達です。
2. 3度の食事だけでは不足する栄養を補給し、からだづくりをしましょう。

不足しがちなイモ類、豆類、野菜や果物を！

小皿に盛って量を決めましょう

ガラガラ食はず、時間を決めましょう

素材の歯ごたえや甘み、しゃきしゃきの音を楽しみましょう

子どもと一緒に作ると楽しさ+おいしさ倍増！

飲み物はお茶か水を！

お正月といえは... 研究所 うんなん



このコーナーでは、健康づくりに役立つ情報や身体教育医学研究所うんなんの活動についてお知らせします！

お正月といえは、歌にあるように
風あげやこま回し、まりつきや羽根
つきといった伝承遊びをする子ども
たちの姿が風物詩でした。しかし最
近は、昔ほどその風景を見かけなく
なったように思います。
お正月の伝承遊びには、家族が元
気に1年を過ごせるようにと願いが
込められていました。例えば、羽根
つきは、1年の厄をはね、子どもの
健やかな成長を願うものとして親し
まれてきました。

伝承遊びの良さを再発見！

近年、戸外でからだを使った遊び
が減少し、子どもの体力低下が指摘
されています。

家族で体を動かしてみませんか

お正月は、縁起も良い伝承遊びに
身近な人や子どもたちを誘って、体
を動かしてみませんか。



身体教育医学研究所うんなん
☎0854-4510300

うんなんでしよう



妻伊交流センターの稲つくり体験活動に参加しました

らかにになります。
さて、そこで文化の違いが見えてきました。社会心理学の調査によると、集団を強調するのは米を生産してきた国で、麦の国は個人主義です。調査のひとつとして、自分と周りの人の関係を絵で描くと、米文化の国の人々は自分より友達や家族についてより大きく描き、麦文化の国の人々は、友達や家族より自分のことについて大きく描いていることがわかりました。
米文化の地域、麦文化の地域それぞれが飛躍的な経済成長をみしてきました。現在どちらの方が上だとか比べるのではなく、それぞれの長所と短所をよく検討して新しい道を探し出せば、経済問題や異文化理解が改善していくでしょう。

(参考: The New York Times Wheat People vs. Rice People by T.M. Luhrmann)

Hello Everyone

国際交流員 (CIR) の迷言コーナー

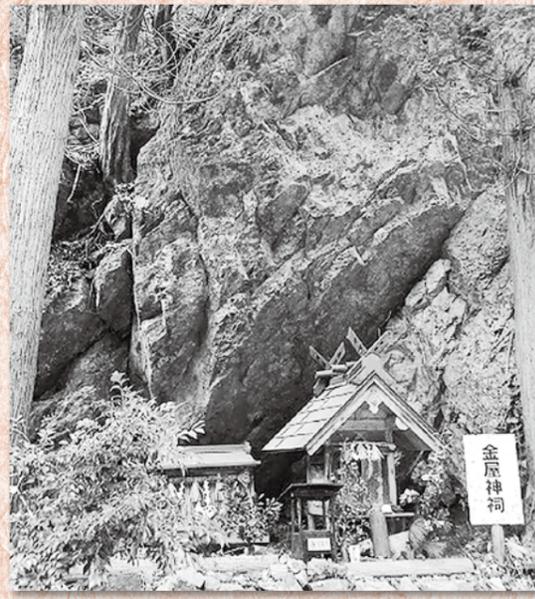


こんにちは、ダニエルです。

欧米人がパンばかり食べていると思っている日本人は少なくありません。確かに、ご飯よりパンの消費量が遥かに多いですが、なぜこうなったのでしょうか？そして、米文化と麦文化にはどんな特徴があるのでしょうか？
欧米の気候を見ると雨が降りますが、日本や東南アジアのように梅雨のある国ほどではありません。米は常に水につかっていると育たないので、雨が十分に降らない欧米は麦文化になったと考えられます。一方、梅雨の国は、どちらかというとお米の生産に向いています。
しかし、それだけでは文化の違いが分かりません。生産法をみると、米の方が2倍ほど大変だということが分かり、さらに集団力が必要だということが明

菅谷たたら歴史物語

第七弾 「たたら操業と金屋子信仰」



▲高殿の下手に鎮座する金屋子祠 (左は元山祠)

たたらで造られる鋼の良し悪しは、村下の技術と勤によるところが大きいと言われてはいますが、それだけではなかったのです。
たたらは、同じ条件で吹いてみても、同じものは造れず、人間だけの能力ではどうにもならない神秘的なものがありました。
「村下に金屋子の神が乗り移って鉄が吹ける」、「鉄は金屋子の神が吹くものだ」と信じて、村下はたたら操業を取り仕切っていたのではないでしょう

市役所からのお知らせ

おめでとうございます

島根県各種功労者表彰
交通安全功労により
岡田 隆宣さん（大東町）

国際交流功労により
黒田 直幸さん（大東町）

ありがとうございます
ございました

加茂図書館
寄附金
鏑木 篤さん（雲南市加茂町）

ふるさと納税
上田公美子さん（天取市）
岸本 義和さん（兵庫市）
家塚 昭年さん（兵庫市）
黒田 康之さん（東京都）
石原 英樹さん（雲南市）
吉岡 優さん（三重県）

雲南市Uターン促進貸付住宅として
土地・建物（木次町木次）
角井 淳さん（東京都豊島区）

市営・県営住宅入居者募集

業務管理課
☎0854-40-1061

市営住宅空家入居者

募集期間
1月5日（月）～
1月13日（火）17時締切

募集団地
1月1日に雲南市ホームページ及び公社ホームページに掲載します。

申込み
島根県住宅供給公社（雲南住宅管理事務所）に備える申込用紙に所定の事項を記入のうえ、募集期間中に公社へ直接提出してください。

選考方法
選考会により入居者を決定します。

県営住宅新築入居者募集

募集期間
1月19日（月）～
1月30日（金）17時締切

募集団地
1月19日に島根県住宅供給公社ホームページに掲載します。

申込み
島根県住宅供給公社（雲南住宅管理事務所）に備える申込用紙に所定の事項を記入のうえ、公社へ直接提出してください。

選考方法
抽選により入居者を決定します。

県営住宅空家入居者

募集期間 随時募集
募集団地
上郡団地（掛合町掛合）

申込み
島根県住宅供給公社（雲南住宅管理事務所）に備える申込用紙に所定の事項を記入のうえ、公社へ直接提出してください。

選考方法
先着順により入居者を決定します。

それぞれの申請に必要な、住民票・平成26年度課税証明書等の書類については、公社へご確認ください。

雲南市Uターン促進賃貸住宅入居者募集

地域振興課
☎0854-40-1014
雲南市では、空き家を子育て

て世代のUターン者用として整備し、定住を希望される島根県外在住のご家族に貸し出します。

募集期間
1月15日（木）17時締切

募集住宅
木次2号 1戸
木次町木次196番地
昭和40年建築 6DK

選考方法
審査会により入居者を決定します。

日本一短い「感謝」の手紙作品募集

雲南市青少年育成協議会事務局（教育委員会社会教育課内）
☎0854-40-1073
1月は「うんなん家庭の日」普及実践強調月間です。あなたの心の中にある感謝の気持ち、やさしい気持ちを短い手紙にしてみませんか。

募集期間
1月9日（金）～
1月30日（金）

応募方法
応募用紙は、図書館、交流センター、社会教育課にあり

しまね東部若者サポートステーション 雲南出張相談会

産業推進課
☎0854-40-1052

しまね東部若者サポートステーションでは、働くことに悩みを抱える若年者の自立に向けて、心理カウンセリングやキャリアカウンセリングなどを実施します。

本人はもちろん、保護者や家族の方、関係機関の方々からの相談もお受けします。相談は無料ですが、事前予約が必要ですよ。

日時・場所
1月28日（水）

一部 午前9時～正午
ハローワーク雲南
二部 午後1時～午後3時
雲南市勤労青少年ホーム（毎月第4水曜日開催）

対象者
15歳～概ね40歳まで

問い合わせ
しまね東部若者サポートステーション（サポステ松江）
☎0852-337710

1月の税金

- ・個人市県民税（第4期）
- ・国民健康保険料（第7期）
- ・後期高齢者医療保険料（第7期）

納期限は **2月2日（月）**

冬季の水道に関する注意事項

水道局 営業課
☎0854-425322

水道管凍結にご注意を！

気温がマイナス3℃以下になると水道が凍結し、水が出なくなったり水道管が破裂する恐れがあります。家まわりの水道を点検し、防寒対策をしましょう。

〈凍結防止対策〉
☆庭先の水栓柱には、布を巻

冬季の水道に関する注意事項

水道局 営業課
☎0854-401062

メーター検針にご協力を！

これから冬季は降雪によって水道メーターボックスの位置がわからなくなり、メーター検針ができなくなる場合があります。

水道メーターの検針は、毎月1日から10日の間に行っています。次のことにご協力をお願いします。

☆降雪時には、水道メーター

冬季の道路に関する注意事項

建設事業課
☎0854-401062

ボックス付近の除雪にご協力をお願いします。

☆普段から、水道メーターボックスの上や周辺には、物などを置かないようにしてください。

また、国土交通省で管理している道路については、安全に走行していただくため、冬季の道路情報を提供しています。

事前に、パソコンや携帯電話から道路情報をチェックし、安全運転をお願いします。

冬期道路情報は、こちらのアドレスからご確認ください。
PC・スマホ専用サイト：
http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/doyroj/its/real/fr_real4.html
携帯専用サイト：
<http://www.cgr.mlit.go.jp/mlivecam.htm>

広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

公的年金等を受給されている方へ

公的年金等の収入金額が400万円以下で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の各種の所得金額が20万円以下である場合には、**確定申告は必要ありません。**

- 所得税及び復興特別所得税の確定申告が必要ない場合であっても、所得税及び復興特別所得税の還付を受けるためには、確定申告書を提出する必要があります。
- 所得税及び復興特別所得税の確定申告が必要ない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。

国税に関する一般的なご相談は

確定申告テレフォンセンター をご利用ください。



税務署に電話をおかけになると音声ガイダンスでご案内しますので、「0(ゼロ)」番を選択してください。

収入金額や経費など日々の取引の状況を出納帳等に記録し、取引に伴って作成したり、

平成26年分所得税の還付申告の受付が始まります

税務課
☎0854-40-1034

所得税の確定申告書の提出は毎年2月16日から3月15日までと定められています。還付のための申告書は1月1日から税務署に提出することができます。税務署では年明け以降、随時還付申告の相談受付を行っていますので必要書類を準備し、早めに申告・相談されることをお勧めします。

国税庁ホームページでは期間中、確定申告書作成コーナーが開設されており、必要事項を入力すれば簡単に申告書を作成することができます。ご自分で作成された申告書は税務署へ郵送、または時間外収受箱への投函により提出することができます。併せてe-TAX（イータックス、電子申告）の受付も始まりますのでパソコンとインターネットが利用できる方は国税庁ホームページから申告してください。

なお、例年どおり市でも農業相談、申告相談を実施しますが、会場は非常に混み合うことが予想されます。所得税の還付申告につきましては、早めに税務署やe-TAXで提出されることをお勧めします。（市で開催する申告相談の日程については、次号の市報にてお知らせいたします。）

食育推進計画へのパブリックコメント(意見募集)を実施します!

市では雲南市食育推進計画 第2次計画(計画実施期間:平成27年度~平成31年度)を作成しています。第1次計画(計画実施期間:平成20年度~平成26年度)の理念『食は生命~学び・伝え・創造する雲南の食育~』を受継ぎ、食をとおした“ひとづくり”、“まちづくり”をめざす計画となっています。

市民のみなさんにとってより身近で取り組みやすい計画となるよう、みなさんのご意見をお聞かせください。

【実施期間】 1月25日(日)まで
【問い合わせ先】 健康推進課 ☎40-1045

※実施方法の詳細は雲南市ホームページをご覧ください。

受領した書類を保存(7年)するようにしてください。

確定申告や記帳制度の詳しい内容については大東税務署(☎0854-43-2360)にお問い合わせください。

※減価償却費の計算
事業用の建物・機械・貨物自動車、農業用水路等で取得価額(購入・工事代金)10万円以上が該当します。ご自分で計算管理されているときはそれをご利用ください。

また、市役所で登録されているときは市の相談会場までお出かけいただくか、お問い合わせください。

2015年 平成27年 2月1日

農林業センサス

社会教育課 ☎0854-40-1073
毎月第3日曜日は「うなんん家庭の日」です

1月18日

うなんん家庭の日

【補助額】
市産木材使用1㎡当り2万円、かつ1戸当り上限40万円。ただし、年間予算が無くなり次第終了します。

【補助申請】
補助金を受けられる方は、着工日前まで(購入の場合は、売買契約締結後)に申込書の提出が必要です。

農林振興課
☎0854-40-1051

雲南市では、市産木材を含む県産木材※を使って住宅を新築、増改築または購入される方に対し、市産木材の使用状況に応じて補助を行っています。

※「県産木材」とは「しまねの木認証制度」に基づき、県産木材を指します。

【補助対象住宅】
市内に自ら居住するために住宅を新築、増改築または購入される方(施工主)

・市産木材を含む県産木材を構造材(柱、梁、桁、壁、床など)に50%以上使用して新築、増改築または購入される住宅(但し、増築の場合は床面積が10㎡以上に増加する場合)

・平成26年4月1日以降に着工し、平成27年3月20日までに工事完成する住宅(但し、購入の場合は、上記期間中に売買契約締結が必要です)

～あしなが育英会へ義援金を贈る～

「平和を」推進友の会(代表:古山陽治さん)は、平和の花の無料配布や永井隆平和賞入賞作品を活用した平和精神の普及、義援活動などを行っています。

10月26日に開催された「みとやっこまつり」において、あしなが東日本大震災遺児支援募金活動を行い、その報告とともに雲南市を通じて送金のお願いがありました。

地域相談支援ワークショップin島根

「がん患者の暮らしを支える縁結び ~がんになっても安心して働き暮らせる地域であるために~」

各病院のがん相談支援センター相談員は、がんになっても安心して働き暮らせる社会の構築をめざし、各支援機関が島根のがん患者の就労問題をいっしょに考え、問題解決に向けた連携のスタートとなるよう、ワークショップを企画しました。患者さん・ご家族はもとより、事業主・労務担当の皆様、病院内外の支援機関の皆様、ぜひご参加ください。

参加は無料です。事前申込み(締切りは1月30日)が必要です。

【日時】 2月14日(土) 13:00~16:30
【場所】 松江テルサ1階 テルサホール
【対象】 がん患者さんの就労について関心のある方
(がん患者・家族、企業労務担当者、社会保険労務士、行政担当者、医療従事者など)
【内容】 基調講演、シンポジウム他
【申込み・問い合わせ先】 島根大学医学部附属病院 がん患者・家族サポートセンター ☎0853-20-2545



平成27年度自治医科大学医学部入学者募集

栃木県にある自治医科大学は全都道府県が共同で設立した学校法人により運営されている医科大学で、卒業後に出身県に戻り一定期間地域の病院、診療所に勤務すれば、授業料などが全額免除されるという特徴があります。

ふるさと島根の医療を守るといふ気概にあふれた方の申し込みをお待ちしております。

【募集人数】123名（島根県から2～3名）

【第1次試験日】1月26日（月）〔学力〕
27日（火）〔面接〕

【試験会場】サンラポーむらくも（松江市）

【試験科目】数学（数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・数学A・B）
理科（物理、化学、生物のうち2科目選択）
外国語（英語Ⅱ・リーディング・ライティング）

【出願期間】1月5日（月）～1月21日（水）午後5時必着

※1月20日（火）の消印有効

【出願先・問い合わせ先】島根県医療政策課医師確保対策室

〒690-8501 松江市殿町1番地

☎0852-22-6684 FAX 0852-22-6040

たたらの里山再生雇用創造推進協議会 セミナー日程

詳しくは、たたらの里山再生雇用創造推進協議会ホームページもしくは、産業推進課及びハローワーク雲南にチラシがありますのでご覧ください。

林業の担い手育成講座（自伐林家のススメ）

津和野型自伐林業コーディネータでもある匹見・縄文の森協議会の高濱 徹さんによる「道具で変わる世界」～あなたにも出来る森林資源活用エネルギー自給生活～と題し、身近にある道具を使った木材の搬出事例を交えた講演です。

■講師：匹見・縄文の森協議会 会長 高濱 徹さん

■開催日：1月24日（土）

■開催時間：17:00～19:00

■開催場所：木次林業総合センター（木次町山方）

■受付時間：16:30～17:00

林業の担い手育成講座（ロープワーク講習）

ロープと滑車や軽トラックなどを使って重い木材も搬出可能にする林業作業に欠かせないロープワークを実際のロープを使って学ぶ実践型講習会です。

■講師：匹見・縄文の森協議会 会長 高濱 徹さん

■開催日：1月25日（日）

■開催時間：10:00～12:00

■開催場所：木次林業総合センター（木次町山方）

■受付時間：9:30～10:00

※参加費は無料ですが、事前に申込が必要です。

【申込・問い合わせ先】たたらの里山再生雇用創造推進協議会（略称：雲南市雇用創造協議会）

雲南市加茂町南加茂1204-1 ☎0854-49-6610 FAX0854-49-6642

協議会ホームページ <http://tatara-job.jp/>

または、産業推進課 ☎0854-40-1052



緑の募金公募事業の応募

農林振興課
☎0854-40-1051

県民の皆様からの貴重な募金を原資とし、県内で行われる森林整備や緑化活動を支援する平成27年度緑の募金公募事業の応募受付を1月30日（金）まで行っております。平成27年度事業の応募は今限りとなりますので、ご注意ください。

意ください。
詳しくは、島根県緑化推進委員会のホームページをご覧ください。
【問い合わせ先】
（公社）島根県緑化推進委員会
☎0852-21-8049
ホームページ：<http://www.shimane-green.or.jp/>

日本一短い 感謝の手紙

vol.48

◇今回は家族へ送る手紙を紹介いたします。

【今回は木次町の方々の感謝の手紙です。】

おばあさんへ
いつもおやつをよういしてくれてありがとうございます。「たぐいま」とげんきに、いえにかえってくるからまってね。 孫より

孫へ
おともだちとにぎやかにあそぶのが大ききあなた。だれにでもやさしくしてあげて、人にすかれる人になってね。 おばあちゃんより

弟へ
いつも遊んだりしてくれてありがとう。けんかもするけどいっしょにいると楽しいよ。これからもよろしくね。 姉より

姉へ
いつもいろいろなことをしてくれてありがとう。たまにへんなこと言うけど楽しいよ。またあそぼ。 弟より

おかあさんへ
いつもいっしょにねてくれてありがとう。おかあさんがぎゅうってしてくれるからとってもうれしいよ。 むすめより

むすめへ
あなたの笑顔で一日の疲れも吹っ飛びます！あなたがいてくれるから仕事も家事も頑張れるよ。ありがとう。 おかあさんより

道路の除雪のお願い 道路の除雪にご協力をお願いします!!



今年も雪が降る季節となりました。積雪状況により除雪作業を行います。除雪をよりスムーズに行うために、下記の点についてご理解とご協力をお願いします。

- ・自動車の路上駐車及び資材等の放置は絶対にしないでください。（除雪作業の妨げになります！）
- ・除雪車通過後の出入口等の雪は、皆さんにご理解いただき排雪にご協力ください。
- ・「道の駅」や除雪車回転場への長時間の駐車はご遠慮ください。
- ・積雪により道路へ立木等が垂れ下がる場合は、事前に伐採をお願いします。なお、立木等で除雪に支障が生じた場合、やむを得ずこちらで取り除くことがありますのでご了承ください。
- ・側溝のフタを取り、投雪した場合は、作業後必ずすみやかにフタを元通りにしてください。（誤って人が落ちる危険があります!!）

- ・除雪は夜間・早朝に行う場合がありますので、外出される際は、反射タスキ等の反射材を着用し事故防止にご協力ください。
- ・除雪作業は主要幹線道路（国道、バス路線等）を優先して行いますのでご理解をお願いします。

- 問い合わせ
- 国土交通省頼原維持出張所 ☎(0854)72-0004
 - 島根県雲南県土整備事務所維持課 ☎(0854)42-9601
 - 雲南市建設部業務管理課 ☎(0854)40-1061
 - ・大東総合センター事業管理課 ☎(0854)43-8166
 - ・加茂総合センター事業管理課 ☎(0854)49-8603
 - ・木次総合センター事業管理課 ☎(0854)40-1082
 - ・三刀屋総合センター事業管理課 ☎(0854)45-2113
 - ・吉田総合センター事業管理課 ☎(0854)74-0213
 - ・樹合総合センター事業管理課 ☎(0854)62-0302



国道54号の除雪

自治体による国道54号の歩道除雪

**司法書士無料
法律相談**

司法書士総合相談センター
☎0120-114-234

島根県司法書士会では、司法書士による遺産相続、不動産の売買、ローンの返済、悪質商法、裁判、調停、成年後見等高齢者の財産管理などさまざまな法律相談・登記相談を次のとおり行います。

松江会場

【日時】
1月17日(土)
午後1時～午後5時

【場所】
島根県司法書士会館

■出雲会場

【日時】
1月17日(土)
午後1時～午後5時

【場所】
今市コミュニティセンター

**公共職業訓練
3月期受講生募集**

ポリテクセンター島根
☎0852-31-2309

求職者の方を対象に、「電気系」「電気設備科」、「居住系」「ビル管理科」、情報系「情報システムサービス科」の募集を開

**地デジチューナー
無償給付**

情報政策課
☎0854-40-1015

ケーブルテレビなどで「デジアナ変換」により地上デジタルテレビ放送(以下「地デジ放送」)を視聴している世帯へ、簡易な地デジ放送対応チューナー1台を無償で給付します。

【対象者】

- 生活保護などの公的扶助を受けている世帯
- 障がい者がいる世帯で、かつ世帯全員が市町村民税非課税の措置を受けている世帯
- 社会福祉施設に入所している世帯
- 東日本大震災により次のいずれかに該当する世帯
 - 半壊、半焼、または床上浸水以上の程度の被害を受けた世帯
 - 避難の勧告、指示、または退去命令を継続して1カ月以上受けた世帯

【申込方法】
申込書と必要書類を、総務省地デジチューナー支援実施センターに郵送してください。

尾道松江線発掘物語

島根県立古代出雲歴史博物館
☎0853-53-8600

平成27年3月に中国横断自動車道尾道松江線が全線供用開始することを記念して、島根広島両県で連携して特集展「尾道松江線発掘物語ー中国横断自動車道尾道松江線発掘調査の成果ー」を開催します。

【開館期間・時間】
2月22日(日)まで
午前9時～午後5時まで

【常設展観覧料】
一般610円(490円)、大学生410円(320円)、小中高生200円(160円)
※()内は20人以上の団体料金

**求職者支援訓練
ハローワーク雲南**

求職者支援訓練
☎0854-42-0751

雇用保険を受給できない求職者などを対象として、職業訓練を実施します。

【申込期限】
2月27日まで(消印有効)

【問い合わせ】
総務省地デジチューナー支援実施センター
<http://www.chidejishien.jp/>
☎0570-034037
(ナビダイヤル)または、☎03-433342754

※総務省地デジチューナー支援実施センターへ連絡すると、申込書と返信用封筒(切手不要)を送付します。

【申込期限】
2月27日まで(消印有効)

【問い合わせ】
総務省地デジチューナー支援実施センター
<http://www.chidejishien.jp/>
☎0570-034037
(ナビダイヤル)または、☎03-433342754

※受付時間 平日午前9時～午後5時まで

【訓練期間】 2月2日～6月1日

【募集期間】 1月7日まで

【訓練場所】
ふれあいパソコン塾のくりつく松江教室
松江市上東川町164

◆介護福祉人材育成科

【訓練期間】 2月9日～5月8日

【募集期間】 1月9日まで

コミュニティ助成事業

雲南消防本部 予防課
☎0854-40-0139

一般財団法人 自治総合センターが行うコミュニティ助成事業で雲南防火委員会(雲南消防本部)の推薦により、三刀屋保育所幼年消防クラブへ宝くじ助成金で整備した和太鼓セットが贈られました。今回贈られた和太鼓を活用し、今後も地域内での防火防災の普及啓発に役立つことが期待されます。

三刀屋保育所幼年消防クラブは、昭和61年に結成後、避難訓練など積極的にを行い、防火・防災に対する基礎的な知識を幼年期から身につける教



“キラキラハッピーだっこ”を演奏する三刀屋保育所の児童たち

【訓練場所】
日建学院松江校
松江市朝日町498 松江センタービル4階

【訓練期間】 2月16日～5月15日

【募集期間】 1月21日まで

【訓練場所】
ニプロ山陰^{とぎ}教室
出雲市西新町2丁目245
6番地4 朱鷺会館

【訓練期間】 2月18日～6月17日

【募集期間】 1月23日まで

【訓練場所】
島根県社会福祉協議会

【期日・会場】
2月8日(日)
12時30分～15時30分
くにびきメッセ(松江市学園南1丁目2-1)

【内容】
福祉の仕事ガイダンスや相

育を行っています。
コミュニティ助成事業とは
一般財団法人 自治総合センターが宝くじの普及広報事業として受け入れる受託事業収入を財源として、市民が行うコミュニティ活動を推進し、その健全な発展を図るため、コミュニティ組織等が実施する施設や設備の整備に対して補助を行うものです。



教育委員会委員 【問】教育総務課 ☎0854-40-1071

教育委員会委員の太田多美子さんが議会の同意を受け、12月9日付けで再任されました。
また、教育委員会臨時会において、委員長に選任されました。

◆雲南市教育委員会委員(平成26年12月9日現在)

役職名	氏名(敬称略)	任期
委員長	おた 多美子	平成26年12月9日～平成30年12月8日
委員長職務代理者	ほし 野 淳	平成24年12月9日～平成28年12月8日
委員	お 小川 真 里	平成23年12月9日～平成27年12月8日
委員	いた 板 垣 文 雄	平成25年12月9日～平成29年12月8日
委員	やま 山 根 明 子	平成26年10月1日～平成30年9月30日
委員(教育長)	つち 土 江 博 昭	平成24年12月9日～平成28年12月8日

ふるさと雲南のまちづくり 【問】総務課 ☎0854-40-1021

「ふるさと納税」による応援をお願いします。

雲南市では、これまで(平成26年3月末現在)に延べ410人の皆様から92,832,000円ものご寄附をいただき、キャリア教育(中学生の職場体験学習等)や健康増進などの事業に活用させていただきました。

ふるさとへお帰りの皆様、雲南への思いをかたちにする本制度の活用を、ぜひご検討ください。

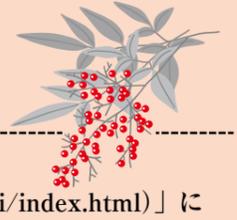
市民の皆様におかれましては、ふるさと雲南の未来へ向けて、お知り合いやご親戚の皆様へPRいただきますようお願いいたします。

雲南市のふるさと納税

- 寄附金の使途が7つの政策(事業)から選べます。
- 寄附金額に応じた税金の控除が受けられます。
- お礼の品をお送りします。

詳しい申込手続きは、「雲南市ホームページ」をご確認ください。
また、「しまね電子申請サービス(<http://www.shimane.elg-front.jp/navi/index.html>)」に接続し、雲南市を選択することにより行うこともできます。

※卒業年次でない学生の方の参加はできません



「雲南市子ども・子育て支援事業計画(素案)」への パブリックコメント(意見募集)を実施します

【問】 子育て支援課
☎0854-40-1044

計画の名称と趣旨	雲南市では、子ども・子育て支援法に基づく、平成27年度からの5年を一期とする「雲南市子ども・子育て支援事業計画」の策定作業を進めています。この計画は、幼児教育や保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進していく「子ども・子育て支援新制度」が平成27年度から施行される予定となっており、そのため幼稚園・保育園・認定こども園などの子育て支援施設及び子育て支援事業について見込量の算出と提供体制の確保方を定め、更に次世代育成支援対策推進法に基づく「雲南市次世代育成支援行動計画(後期計画)」を引き継ぐ計画としていくものです。
意見募集期間	1月22日(木)まで
意見を提出できる人	市内に住所を有する人、市内に事務所または事業所を有する個人、法人等、市内に通勤、通学する人、その他案件に利害関係のある人
素案の公表場所	子育て支援課、総合センター保健福祉課、市ホームページ
意見の提出方法	氏名、住所(団体は所在地、団体名、代表者名)、電話番号を明記のうえ、郵送、ファックス、電子メール、または直接お持ちください。 ※直接お持ちになる場合は、閉庁日は除きます。
意見提出先	〈直接お持ちになる場合〉 子育て支援課、総合センター保健福祉課 〈郵送・ファックス・電子メールの場合〉 郵送：〒699-1392 雲南市木次町木次 1013-1 雲南市役所健康福祉部子育て支援課宛 ファックス：0854-40-1049 電子メール：kosodate@city.unnan.shimane.jp

- (注) 1. ご意見に対する個別の回答はいたしかねます。
2. ご提出いただいたご意見(記載内容)は、氏名、住所、電話番号等を除きすべて公表される可能性があります。
3. 電子メールにてご意見を提出いただく場合には、ご意見を記入したテキストファイルの添付をしてください。

要介護認定者の障害者控除認定書を発行します

【問】 長寿障がい福祉課
☎0854-40-1042

介護保険の要介護認定を受けている方は、平成26年12月31日現在の認定状況により、所得税法及び地方税法上の障害者控除を受けられる場合があります。

- ◆1級または2級の身体障害者手帳をお持ちの方は、「特別障害者控除」を受けることができますので、この認定申請は必要ありません。
- ◆3～6級の身体障害者手帳をお持ちの方は、「障害者控除」を受けることができますが、要介護認定状況により、「特別障害者控除」に該当する場合がありますので、身体障害者手帳を提示の上ご相談ください。

■認定の基準

所得税法及び地方税法に基づき、次の基準により「障害者控除」または「特別障害者控除」の対象であることを認定し、認定証を発行しますので、確定申告の際に提示してください。

※要介護認定を受けていた方が平成26年中途で死亡された場合は、最終の認定状況により判定します。

■「障害者控除」の対象者

介護度が要介護1～5の方で
主治医意見書の「認知症高齢者の日常生活自立度」がⅡa、Ⅱb、Ⅲa、Ⅲbのいずれかに判定された方

■「特別障害者控除」の対象者

- ①介護度が要介護1～5の方で
主治医意見書の「認知症高齢者の日常生活自立度」がⅣ、Ⅴのいずれかに判定された方
- ②介護度が要介護3～5の方で
主治医意見書の「障害高齢者の日常生活自立度」がB1、B2、C1、C2のいずれかに判定された方

■申請の際に必要なもの

印鑑、介護保険被保険者証、身体障害者手帳(お持ちの方)

■申請場所・問い合わせ先

各総合センター保健福祉課または長寿障がい福祉課

三種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風)ワクチンの接種が完了していない方へ

【問】 健康推進課 ☎0854-40-1045

平成24年11月から四種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ)ワクチンが導入されています。

厚生労働省より、今後、三種混合ワクチンの販売が中止される旨の連絡がありました。三種混合ワクチンで接種を進めている方で、**接種が完了されていない方は早めに接種をしましょう。**

※ただし、決められた接種間隔をお守りください。

三種混合ワクチンの供給がなくなった場合は、四種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ)ワクチンでの接種となりますが、規定されているポリオワクチンの接種回数を超えて接種することはできませんのでご注意ください。



「個人情報削除してあげる」公的機関をかたる詐欺が急増

「生活保護センター」を名乗る人から「あなたの個人情報が3カ所に漏れている。2カ所は消せたが、A社だけは取り消せない。代理の人を立てる必要がある」という電話があり、ボランティア団体の人が代理人になってくれることになった。すると、A社から連絡があり、自分に振られている「番号」を教えられた。その後、代理人から「書類に書くのに必要」とその番号を聞かれ教えたところ、A社から再び電話があり「番号を他人に教えたのは違法行為になるため、社員が逮捕された。あなたが保釈金1千万円払うように」と求められ、宅配便で現金を送った。

事例

アドバイス

- 公的機関等をかたり「個人情報が漏れているので削除してあげる」などと持ちかけ、最終的にはお金をだまし取る手口が急増しています。
- 個人情報の削除を持ちかける電話は詐欺です。相手にせず、すぐ電話を切りましょう。
- 一度お金を支払ってしまうと取り戻すことは極めて困難です。絶対に支払ってはいけません。

【問い合わせ】 雲南市消費生活センター ☎0854-40-1123



島根県消費生活センターマスコット
チャック(象)は3カ所に漏れている

2月で満1歳(平成26年2月生まれ)のお子さんを募集!

写真に①お子さんの名前(ふりがな)、②お子さんの誕生日、③ご両親の名前(ふりがな)、④住所、⑤電話番号、⑥コメント(40字程度)を添え、郵便またはE-Mailで**1月7日(水)**までに情報政策課へお送りください。

【問】 情報政策課 ☎0854-40-1015



郵送される場合のあて先
〒699-1392 雲南市木次町木次 1013-1
雲南市役所情報政策課「わが家のホープ」係

E-Mailを送られる場合のあて
jyouhouseisaku@city.unnan.shimane.jp
(タイトルは「わが家のホープ」としてください。)

※市ホームページにも市報うんなんに掲載します。※お送りいただく個人情報は「わが家のホープ」以外の目的には使用しません。
※郵便物またはメールが届きましたら、情報政策課から「到着確認」の電話をかけます。投稿後、当課から電話がないときは問い合わせください。

1月の健診・教室など

【問】健康推進課 ☎40-1045

◆育児相談		
掛合子育て支援センター	14日(水)	9:30 ~
地域福祉センターおおぎ	15日(木)	
三刀屋子育て支援センター	19日(月)	
加茂子育て支援センター	19日(月)	
木次子育て支援センター	23日(金)	
◆妊婦サロン		
木次子育て支援センター	23日(金)	10:00 ~
◆離乳食教室		
木次健康福祉センター	20日(火)	9:30 ~

◆乳幼児健診				
乳児健診	大東・加茂地区の方	大東健康福祉センター	8日(木)	13:00 ~ (4か月児) 13:30 ~ (10か月児)
	木次・三刀屋・吉田・掛合地区の方	木次健康福祉センター	15日(木)	13:00 ~ (4か月児) 13:30 ~ (10か月児)
幼児健診	大東・加茂地区の方	加茂健康福祉センター	21日(水)	13:00 ~ (3歳児)
	木次・三刀屋・吉田・掛合地区の方	木次健康福祉センター	29日(木)	13:00 ~ (1歳6か月児)

◆断酒会		
加茂健康福祉センター	5日(月)	18:30 ~ 20:30
大東交流センター	13日(火)	19:00 ~ 21:00
下熊谷交流センター	19日(月)	
掛合まめなかセンター	21日(水)	
三刀屋健康福祉センター	29日(木)	

献血 【問】市民環境生活課 ☎40-1031

皆様のご協力をよろしくお願い致します。		
三刀屋町		
みしまや三刀屋店	28日(水)	9:30 ~ 11:00
雲南警察署		12:30 ~ 14:00
平成記念病院		14:45 ~ 16:30

◆その他相談				
雲南サロン「陽だまり」			8日(木) 22日(木)	10:00 ~ 15:00
【問】雲南保健所 ☎42-9638				
<自死遺族/分かち合い>自助グループたい〜ぼちぼちの集い〜	チェリヴァホール 2階(小会議室)		11日(日)	13:00 ~ 15:00
【問】健康推進課 ☎40-1045				
こころの健康&もの忘れ相談			14日(水)	13:00 ~ 15:00
【問】雲南保健所 ☎42-9642				
就業相談会(移動ナースバンク)	ハローワーク雲南		14日(水)	13:00 ~ 16:00
【問】雲南公共職業安定所 ☎42-0751				
交通事故巡回相談	出雲市役所		15日(木)	9:00 ~ 15:00
【問】交通事故相談所 ☎0852-22-5102				
認知症の人と家族の会サロン「色えんぴつ」	雲南保健所		15日(木)	10:00 ~ 15:00
【問】地域包括支援センター ☎40-1043				
難病サロン「ひまわり」			16日(金)	13:00 ~ 15:00
【問】雲南保健所 ☎42-9638				
アルコールによる困りごと相談			19日(月)	13:00 ~ 15:00
【問】雲南保健所 ☎42-9642				

【問】長寿障がい福祉課 ☎40-1042

◆雲南市障がい者支援活動				
紙粘土細工	三刀屋農村環境改善メインセンター	20日(火)	13:30 ~ 15:30	
【問】地域活動支援センター パレット ☎45-0020				

※内容、場所、日時の順に記載。
市外局番は記載のないものは
いずれも0854。

『365日公演2015!!』元旦からスタートします。

■日時 1月1日～12月31日
■会場 木次経済文化会館 チェリヴァホールを中心とした雲南市内全域

《お客さまがゼロになったら、チャレンジ終了!!》
演劇は演者とお客さまの両方があって成り立つものです。我々の自己満足にならないためにも、より多くの方に観に来ていただきたいと考えています。

《劇団ハタチ族!!》
2011年に演劇ユニットとしてハタチ族を始動し、2013年に劇団として発足。
メンバーは20代を中心とした10人で雲南市を拠点に県内外で活動中。
※内容と詳細についてはハタチ族のホームページをご覧ください。
◆ハタチ族のホームページ◆
<http://20zoku.jp>

【問い合わせ先】
劇団ハタチ族 tel.090-8606-7652 (西藤) さいとう
mail.20zoku.post@gmail.com



1月 子育て支援センターなどのスケジュール

大東 教室・相談				
大東子育て支援センター(おおぞら保育園2階)	子育て教室(おおぞら保育園学童棟)	8日(木)	9:30 ~ 11:30	
	子育て相談	9日(金)、23日(金)	10:00 ~ 16:00	
福祉センターおおぎ	赤ちゃん教室(おおぞら保育園学童棟)	13日(火)	9:30 ~ 11:30	
	子育て相談	15日(木)	9:30 ~ 11:00	

子育てサロン				
木馬(おおぎ)		毎週火・木曜日	9:30 ~ 15:30	
ぼかぼかひろば(幡屋交流センター)		5日(月)	9:30 ~ 11:30	
よちよち(旧久野幼稚園)		7日(水)	9:30 ~ 11:30	
ぼっぼ(佐世交流センター)		8日(木)	9:30 ~ 11:30	
うしお(海潮交流センター)		9日(金)	9:30 ~ 11:30	

地域サークル				
佐世交流センター		15日(木)	9:30 ~ 11:30	
大東健康福祉センター		16日(金)	9:30 ~ 11:30	
幡屋交流センター		19日(月)	9:30 ~ 11:30	

保育園開放日				
大東保育園	毎週水曜日	試食の予約:前日16:00まで		
かもめ保育園	毎週金曜日	試食の予約:前日16:00まで		
おおぞら保育園	毎日	試食は金曜のみ	試食の予約:当日9:00まで	
問い合わせ先	▶大東保育園 ☎43-6132	▶かもめ保育園 ☎43-5028	▶おおぞら保育園(大東子育て支援センター) ☎43-9500	▶地域福祉センターおおぎ ☎43-5610

加茂 支援センター				
加茂子育て支援センター	お茶会(※要予約)	9日(金)	10:00 ~ (1時間程度)	
	たんぼひろば(おもちゃ作り)	14日(水)	10:00 ~ (1時間程度)	
	たんぼひろば(おもちゃつき)	21日(水)	10:00 ~ (1時間程度)	
	誕生会(※誕生児は要予約)	28日(水)	10:00 ~ (1時間程度)	

教室・相談				
加茂子育て支援センター	離乳食もぐもぐ教室(5~6ヵ月児)	8日(木)	10:00 ~ (※要予約)	
	離乳食もぐもぐ教室(7~8ヵ月児)	15日(木)	10:00 ~ (※要予約)	
	育児相談	19日(月)	9:30 ~ 11:30	
離乳食もぐもぐ教室(9~11ヵ月児)	22日(木)	10:00 ~ (※要予約)		

子育てサロン				
加茂交流センター	プチつくしひろば	23日(金)		
問い合わせ先	▶加茂子育て支援センター ☎49-8355	▶加茂交流センター ☎49-8380		

木次 支援センター				
木次子育て支援センター	3B体操(1歳半以上)	16日(金)	10:00 ~	
	誕生会(誕生児は要予約)	22日(木)	10:30 ~	
	ミュージックケア(1歳未満、要予約)	29日(木)	10:00 ~	

出前保育				
西日登交流センター		14日(水)	10:00 ~	

教室・相談				
木次子育て支援センター	ベビーマッサージ(3~7ヵ月、要予約)	13日(火)	10:00 ~	
	育児相談	23日(金)	9:30 ~ 11:00(受付)	
	妊婦サロン(要予約)	23日(金)	10:00 ~	
	ベビーマッサージとママの軽運動(3~7ヵ月、要予約)	27日(火)	10:00 ~	

社協子育てサロン(にこにこクラブ)(参加費 一家族100円)				
日登交流センター		21日(水)	10:00 ~	
高齢者コミュニティセンター		28日(水)	10:00 ~	
問い合わせ先	▶木次子育て支援センター(斐伊保育所併設) ☎42-2030	▶雲南市社会福祉協議会木次支所 ☎42-9080		

三刀屋 支援センター				
三刀屋子育て支援センター	育児相談	19日(月)	9:30 ~ 11:00	
	あそぼう広場	23日(金)	10:00 ~ 11:00	
問い合わせ先	▶三刀屋子育て支援センター ☎45-9500			

吉田 保育所開放日				
吉田保育所		8日(木)	9:30 ~ 11:30	
田井保育所		21日(水)	9:30 ~ 11:30	

社協子育てサロン(あいあいクラブ)				
吉田健康福祉センター	フリースペース	21日(水)	9:30 ~ 11:30	
問い合わせ先	▶吉田保育所 ☎74-0330	▶田井保育所 ☎75-0201	▶雲南市社会福祉協議会吉田支所 ☎74-0078	

掛合 保育園開放日				
夢の子園	保育所開放日	7日(水)、21日(水)	9:00 ~ 11:00	
	屋敷試食会	21日(水)(要予約・メシ14日)	11:00 ~ 12:00	

支援センター(分室:掛合体育館)				
分室	子育て相談日	14日(水)	9:30 ~ 11:00	
	お話の日	15日(木)	10:30 ~ 11:00	
	初釜の会	28日(水)(要予約・メシ21日)	9:30 ~ 11:00	
問い合わせ先	▶掛合子育て支援センター ☎080-2909-4713			
	▶かけや夢の子園 ☎62-9900			

図書館だより

図書館からのお知らせ
市立図書館の図書がインターネットで検索できるようになりました!
図書館に読みたい本があるかどうか、ご自宅のパソコンで自由に調べることができます。
市立図書館のホームページまたは雲南市のホームページよりご覧ください。

大東図書館 ☎0854-43-6131
1月の休館日 毎週金曜日、年始休館:1日(木)~3日(土)
12日(月・祝)、月末整理休館:31日(土)

イベント案内
☆こぐまちゃんくらぶ 毎週月曜日 10:30 ~ (5日、12日はお休み)
(わらべうた遊びの会 対象:乳幼児と家族の方)

新着の本(抄)

▼有川 浩「キャロリング」▼伊坂幸太郎「アイネクライネナハトムジーク」▼五木寛之「親鸞 完結篇④」▼宇江佐真理「昨日のまこと、今日のうそ」▼梶 よう子「桃のひこばえ」▼今野 敏「自覚」▼佐伯泰英「新友禅の謎」▼笹本稜平「分水嶺」▼時雨沢恵一「キノの旅 18」▼真保裕一「ダブル・フォールト」▼堂場瞬一「埋れた牙」▼葉室 麟「風花帖」▼はやみねかおる「モナミは宇宙を終わらせる?」▼藤原緑沙「雪姫」▼菅田哲也「歌舞伎町ダム」▼真山 仁「売国」▼湊 かなえ「物語のおわり」▼柚木麻子「3時のアッコちゃん」▼ヨナス・ヨナンソン「窓から逃げた100歳老人」▼岡野雄一「ペコロスの母の玉手箱」▼齋藤 孝「大人のための読書の全技術」▼生田美秋監修「365日、まいにち絵本!」▼山下和彦、大西忠輔「転倒予防」▼コウ静子「症状別不調のときに食べたいごはん」▼堤 人美「1日分の野菜がとれる「元気なべ」」▼桑原紀子監修「高齢者の日常生活サポート」

木次図書館 ☎0854-42-1021
1月の休館日 毎週月曜日、年始休館:1日(木)~1月3日(土)
振替休館:13日(火)、月末整理休館:31日(土)

イベント案内
☆よみかたりのじかん 毎週木曜日 14:30 ~ (1日を除く)

新着の本(抄)

▼五木寛之「親鸞 完結篇④」▼西 加奈子「サラバ!」▼連城三紀彦「女王」▼津村記久子「エヴリシング・フロウズ」▼中村 航、中田永一「僕は小説が書けない」▼高橋のぶ子「少女霊異記」▼愛川 晶「ヘルたん」▼斎藤茂 文、松本春野 絵「今日も明日も上機嫌。モタさんの「言葉」」▼成毛 眞 編著「ノンフィクションはこれを読め!」▼河出書房新社 編「赤瀬川原平」▼河出書房新社 編「安西水丸」▼梓 加中、中村康子「絵本であそぼう、このゆびとまね!」▼有働由美子「ウドウロク」▼春名風花「少女と傷とあつたためミルク」▼鈴木みき「山、楽しんでますか?」▼すがわらめぐみ「猫の診療所」▼今泉久美「鉄分とれば元気できれい!」▼貧血改善レシピ」▼宮崎正隆「ペンギンの不思議」▼「おかんメール」制作委員会委員 編「おかんメール②」▼サンリオ「ぐでたまのネガポジ図鑑」▼牛田専一「何もつけない! 美肌術」▼遠藤ひろみ「かざ針で編むかわいい編みもの」▼スタジオワーク「名所・旧跡の解剖図鑑」

加茂図書館 ☎0854-49-8739
1月の休館日 毎週木曜日、年始休館:1日(木)~3日(土)、12日(月・祝)
特別整理休館:21日(水)~31日(土) [蔵書点検・配架修正などの作業のため]

新着の本(抄)

▼小川 糸「にじいろのガーデン」▼梶 よう子「桃のひこばえ」▼桐野夏生「夜また夜の深い夜」▼堂場瞬一「警察(サツ)回りの夏」▼梨木香歩「丹生都比売」▼葉室 麟「風花帖」▼湊 かなえ「物語のおわり」▼山本兼一「心中しぐれ吉原」▼柚木麻子「3時のアッコちゃん」▼ジェニファー・テグ「祖父はアーモン・ゲート」▼高橋 瞳「日本入門」▼世森洋樹編「写真でわかるはじめての小学校生活」▼湯沢英史「気持ちのコントロールが苦手な子への切りかえことば26 折れない心育てることばかけ」▼鎌田浩毅監修「地震と火山」▼金子由紀子「ためない習慣」▼村上伊万里「布でつくる、かわいい花のアクセサリ」▼渡辺俊美「461個の弁当は、親父と息子の男の約束。」▼井上雅夫「女性やればずんずん進む決定版! 獣害対策」▼海老久美子「女子部活」▼篠山正幸「プロ野球心にしめる80の名言」



平成27年 雲南市消防出初式

とき 1月11日(日)
9:30～ 式典
11:00～ 一斉放水(三刀屋川河川敷)
ところ 三刀屋文化体育館アスパル
【問】危機管理室 ☎0854-40-1027

第2回 加茂町人権セミナー

とき 1月26日(月) 19:30～21:00
ところ 加茂健康福祉センターかもてらす
演題 「男女共同参画ってなあに？」
～ “女らしく” “男らしく” より “自分らしく”
講師 市場恵子さん (社会心理学講師・カウンセラー)
【問】雲南市人権・同和教育推進協議会加茂支部
(加茂総合センター内) ☎0854-49-8601

キラキラ雲南文化講座「海潮のむかし」 出雲地方の金屋子神について

とき 1月18日(日) 13:30開演
ところ : 古代鉄歌謡館
講師 : 出雲玉作資料館 館長 三宅博士さん
入場料 : 無料
【問】古代鉄歌謡館 ☎0854-43-6568

平成26年度優秀映画鑑賞推進事業 チェリヴァシアター『優秀映画鑑賞会』

市川雷蔵と中村錦之助、多くの映画ファンを魅了し、一世を風靡した二大スターの作品を上映!!

とき 1月17日(土)

① **「弁天小僧」**
(1958年/大映(京都)/86分)
10:30～
監督: 伊藤大輔
原作: 河竹黙阿弥
脚本: 八尋不二
出演: 市川雷蔵、青山京子、勝 新太郎



② **「眠狂四郎殺法帖」** (1963年/大映(京都)/81分)
15:00～
監督: 田中徳三
原作: 柴田錬三郎
脚本: 星川清司
出演: 市川雷蔵、中村玉緒、城 健三朗



とき 1月18日(日)

① **「叛逆児」**
(1961年/東映(京都)/110分)
10:30～
脚本・監督: 伊藤大輔
原作: 大佛次郎
出演: 中村錦之助、桜町弘子、岩崎加根子



② **「沓掛時次郎 遊侠一匹」** (1966年/東映(京都)/90分)
15:00～
監督: 加藤 泰
原作: 長谷川 伸
脚本: 鈴木尚之・掛札昌裕
出演: 中村錦之助、池内淳子、瀧美 清



入場料 各日500円、高校生以下無料 ※無料託児サービスあり(要申込・締切1月7日(水))
ところ 木次経済文化会館チェリヴァホール(2Fホール)

【問】チェリヴァホール ☎0854-42-1155

●市報うんなん No.122 2015年1月発行

発行・編集/雲南市役所 政策企画部 情報政策課
〒699-1392 雲南市木次町木次1013-1 ☎0854-40-1015 FAX 0854-40-1019
✉ unnan-city@city.unnan.shimane.jp

市報うんなんに対するご意見、ご感想をお寄せください。

人 口・41,039人(-35人)

男 性・19,673人(-24人)

女 性・21,366人(-11人)

世帯数・13,848世帯(23世帯)

平成26年12月1日現在(先月比)